

猛暑が続くなか、2学期も元気にスタート

8月21日(水)、パリオリンピック、猛暑、台風など様々あった夏休みを終えて、朝から子どもたちは、両手にたくさんの夏休みの作品や学習用具を持って登校しました。2学期の気持ちも新たに、体育館で始業式を行いました。始業式では、はじめに夏休みはじめにあった不祥事についての説明を行った後に、式辞を述べました。式辞では、「本当の失敗は挑戦しないことである」という物理学者アインシュタインの言葉を読みました。パリオリンピックで活躍した十代の選手本人やご家族の、今日に至るまでの苦労を想像しながら、華やかな舞台に立つオリンピック選手も始めはみんな初心者であったこと、その種目の楽しさを感じ、失敗を重ねながらも、もっと上手になりたい、強くなりたいと、挑戦して諦めずに続けた結果がオリンピックで発揮されたことなどを話しました。そして、スポーツに限らず、はじめは誰でも不安や、緊張、困難さを感じるけれど、はじめから失敗を恐れていたのでは、何1つものにならない。新しく挑戦することの中に、もっと大きな喜びや面白さ、将来の自分があるかもしれません。という話をしました。

私たち職員も子どもたちの可能性を引き出していきたいと思います。

休み明けにあたりご家族の皆様には、たくさんご協力いただいたことと思います。ありがとうございます。暑い夏がまだまだ続きますが、子どもたちの今日のスタートの気持ちを大切にしていきたいと考えています。今学期もよろしくお願いいたします。以下には始業式での2名の児童の発表を紹介します。

「夏休みの思い出と2学期頑張りたいこと」 2年代表 さとうひかり

私の夏休みの思い出は、家族で「ゆびあす」に行ったことです。初めてウォータースライダーを滑りました。速くて楽しかったです。楽しかったのでいっぱい滑りました。ロケットコースとロデオコースとスラロームコースがありました。中でも私は右や左にいっぱい揺れるスラロームコースが楽しかったです。楽しかったので、スラロームコースをいっぱい滑りました。

2学期がんばりたいことは、授業の時に手を上げることです。1学期は、わからないときや自信が持てないときに、なかなか手を上げて発表することが出来ませんでした。だから、2学期は、間違えることを怖がらずに、手を上げて発表することを頑張りたいです。

「夏休みの思い出と2学期頑張ること」 4年代表 辻村たくま

僕の夏休みの思い出は、サッカーの大会で3位になったことです。出場した大会は、ゼビオカップで、県内の55チームが参加した大きな大会です。4年生以下のチームで、僕はキャプテンとして試合に参加しました。結果は、3位でしたが、思いきりプレーできたことや、PKでチームで唯一得点を決めることができたので良かったです。次の大会でも、結果を残して東北大会に出場できるようにしたいです。

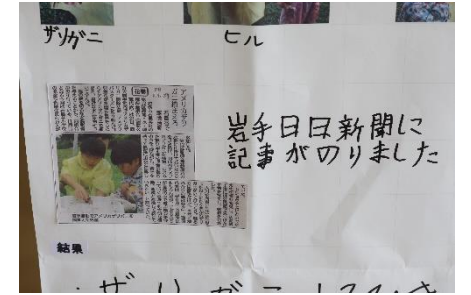
2学期に頑張りたいことは、2つあります。1つめは、生活リズムをくずさないようにしたいです。サッカーの朝練を週3日間くらい行っているの、起きる時間を毎日同じくらいにしたいです。

2つ目は計算です。計算がもっと得意になるように、かけ算を中心に、一人勉強やドリルに取り組みたいです。今日から2学期です。自分の目標に向かってしっかり取り組んで、友達と1つでも楽しい思い出が増やせるようにしていきたいです。

思い出のつまった夏休み作品展開催。よくがんばりました。

8月27日(水)と28日(木)の2日間、プレイルームと図工室を使って夏休み作品展を開催しました。夏らしい花火やかき氷などの作品、鉄砲や刀、動くおもちゃゲームなどのおもちゃ、木や段ボールを使った棚、ビーズ、粘土、羊毛、木材、ペットボトル、ガラス、布などの素材をいかした置物や額、お菓子などの作品、習字、自由研究もたくさんあり、中には岩手日報にも紹介されたものもありました。実に様々な作品がありました。

夏休みの期間にそれぞれがいろいろ見たり、聞いたり、体験して作り上げたことを感じ嬉しく思いました。お家の方々にも本当にお手数をおかけしました。学級内でも夏休みの思い出や、作品についての発表会をしていて、お互い楽しく交流することができました。ありがとうございました。



市内陸上記録会におけて練習もスタート

9月26日(木)に行われる花巻市小学校陸上記録会に向けての練習がはじまりました。昨年は4年ぶりの開催でしたが、リレーや種目でたくさん活躍してくれました。残暑も厳しく練習も大変ですが、子ども達のもっている力を十二分に発揮してもらいたいと思っています。現在は記録をとっていますが、選手を選考してからより本格的な練習が始まります。体調にも気を付けながら、記録を伸ばしてほしいと思います。当日はぜひ応援をお願いいたします。



教育実習生がきています。 秋庭廉さん



盛岡大学 文学部 児童教育学科3年(本校の卒業生です)

期間: 8月26日~9月20日

盛岡大学から来ました、秋庭廉と申します。9年振りに母校を訪れ懐かしさを感じるとともに、母校での実習をとても嬉しく思います。私が小学生の頃は教室にエアコンやタブレット等はなかったため、快適な学習環境に変わったことに驚きました。この1ヶ月の実習では、様々な経験をとおして教員として必要な素養を磨きたいと思います。

8月25日（金）の業間休みに2回目の避難訓練を行いました。今回は、休み時間に地震が発生したという想定で、地震時の身の守り方と共に、各自いる場所から自分で校庭まで避難する訓練でした。集合までの時間は3分48秒で1回目より早くなっていました。いつも気をつけさせている「お（おさない）か（かけない）し（しゃべらない）」については、ほとんどの子どもが守れていましたが、集まってからのおしゃべりが少し気になりました。私からは、お（おさない）に関わって、学生時代に体験した松島での花火大会で、大会直後のにわか雨によって近くの松島海岸駅が大混雑して、危うくけが人が出そうになったお話をしました。人は想定していない事が起こった時に、冷静でいることが難しいと感じます。訓練を積んで常に慌てず行動できるようになってほしいと感じています。